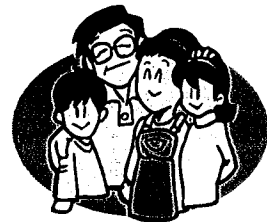




2013年 GW・NPO法人 多言語広場CELULAS



## 第9回 セルラス韓国ホームステイ交流 感想文

名前: 木 みちよ (みっち)

ピアザ: 三宮

2013年5月1日～5月5日

★(ホームステイ中の様子)(ホストファミリーのこと)(印象的なエピソード)など、今回の交流の感想をホームステイを終えたばかりの今のすなおな気持ちで書いてください。ウラにも書いてOKです!

- ★台風のような数日(準備期間も含めて)を終えようとして、今、とても不思議な感覚でいます。ありとあらゆる、いろ～んな感情をつかった気がします。
- オンマも、今、ホッとて、お疲れがでていなければいいけれど、?と鬼います。
- オンマをはじめとする、家族のみなさんに、とても親切にしてくださいました。
- 家族のふつうの生活に、すっぽりを入れてもらえたことが嬉しくて、ありがたく鬼います。
- ★嬉しかったことはたくさんです。オンマが留守中は、子どもたちが世話をしてくれました。
- ジュワン(長男)が、友達と約束があって出かけるときに、私に「ごめんね、合式験が終わったばかりだから友達が遊びたくて約束したので少し遅ってきますね」と言ってから出かけて行きました。
- ジニョン(娘)が、オレンジを切らせて食べさせてくれました。
- 2日めに、バイオリンのおけいこから帰ったときに、「みっちやー」と走ってかけよって来てくれたときには、本当にかわいくて、嬉しかったです。
- シャイだと聞いているアッパが、話しかけてくれたり、一緒に行動してくれたり、最後の晩にお土産もくれたり、最後の出勤力を見送った朝に、「またおいで」と手を握ってくれたときも嬉しかったです。
- 子どもたちが、私の作るものいろいろ食べてくれましたが、帰りの日の朝目にうどんを チンチャマシッター!!とおいしく食べてくれたことも嬉しかったです。
- 考えてみれば、どれも、日本の家族がふつうにやってくれていることです。
- 日本の家族が当たり前のようにやってくれていることが、こんなにも嬉しくて幸せを感じるのだとすると、韓国の家族の中で気づきました。
- ★オンマとは、レックスとセルラスのこと、子育てのこと、たくさんたくさん話をしました。いっぱい話して感じたのは、どの話題にしても、オンマと私の考え(感性?感覚)がとても良く似ているということでした。不思議ですが、本当にそう鬼いました。
- いろいろ通じたつもりではいるが、オンマが私と過ごした数日、しんどくなかったかな? 疲れてないかな? は、やっぱりど両方です。

★ 言葉に関して。

言葉は、3か国語でがんばって、通じ合おうと互いに工夫しました。  
ほとんど、イメージ力をつかって理解できましたし、  
伝えることもできました。

セルラスの活動を始めてすぐの頃を思うと、ちょっと、赤ちゃんから  
ムカ見になれたような感じです。

新しいセルラスメンバーが、「犬と赤ちゃん」の中言葉を  
いっぱい使ってしゃべっていたことも驚きました。

みんな、家族の中で、ビオープンにがんばって、楽しめました。

★ 娘のまほがステイしたホスト家族が

交流会に来てくれたことも、大変うれしかったです。

ふーちゃんのオンマ、めぐちゃんのオンマ、かえでちゃんのオンマ、  
いろんな人に会って、「地球家族」を感じました。

★ 実は、下の娘と鬼子を連れて行く予定で、パスポートも申請して、  
本当にそのつもりでいっていたが、経済的理由で断念しました。

LEXの方には、ご迷惑をかけました。

結果的に、私が単身参加して、本当に良かったと思います。  
1人だから、経験できたことがたくさんあります。

★ もう、飛行機が到着します。

残念、また続きは。あとで。

一緒に行ったメンバー、セルラスのみなさん、

LEXのみなさん、ホスト家族、日本の家族への思いが  
たくさんわいてきます。あいがとうを伝えたいです。